



収録に臨む(左から)坂本隆太郎、山田かつろう、尾松由紀(大阪市内)

ラジオドラマで ほっこり温かく

クリスマスに関西小劇場界から贈り物

Kiss FMで23日 ショートストーリー4編

関西小劇場界の人気役者と劇作家で作るラジオドラマ「STORY FOR TWO(ストーリー・フォー・トゥー)」のクリスマススペシャルが23日午後6時〜同55分、Kiss FM KOBЕで放送される。今年のテーマは「言葉のカイロでホッカホカ」。心がほっこり温まる、ショートストーリー4本の詰め合わせだ。

同番組は1996年から続く長寿番組で、毎土曜午後9時55分〜10時に放送している。夫婦やカップル、初対面など一組の男女が、時にはかばかしく、時に小じやれた愛の物語を小気味よく繰り広げる。

現在はたみお(ユリイカ百貨店)、嘉納みなこ(かのうとおつきん)、合田団地(努力クラブ)、福谷圭祐(匿名劇壇)の4人が週替わりで脚本を担当する。クリスマス特番は毎年恒例

で、23回目になる。

福谷は「犯罪者が！」を書いた。イブの夜、純真無垢な女(尾松

由紀)が、サンタの訪問を夢見て恋人(山田かつろう)と眠りにつく。そこに怪しい男(坂本隆太郎)が忍び込む。恋人が気付いて取り押さえると、男は苦し紛れに「俺はサンタだ」と言い出す。恋人はあきれるが、女は…。

演出のピンク地底人3号(ピンク地底人)は「クリスマスらしい華やかな感じを心掛けた。ラジオドラマは声だけだが、聞いているうちにいろんな風景が見えてくる。楽しんでもらいたい」と話した。

過去には松田正隆や故深津篤史ら、岸田國士戯曲賞受賞者も同番組に脚本を提供してきた。これまでの作品は同局のホームページから聴くことができる。

(溝田幸弘)

放送